

## 事業評価書

補助事業名	医療に関する事業：義務教育就学児医療費助成事業（基金）（その 2 及びその 3）									
補助事業者名	羽村市長									
実施場所	羽村市役所									
補助事業の目標	<p>対象となる児童及び生徒が、怪我や病気により、医療機関を受診した際に、医療費の 7 割は健康保険から給付され、残りの 3 割が自己負担となっている。</p> <p>受診時に窓口において、健康保険証と医療証を提示することにより、保険診療の自己負担分のうち、入院・調剤に係るものは全額、通院に係るものは、1 回につき 200 円を控除した額を助成している。</p> <p>補助事業を継続的に実施し、児童及び生徒に係る医療費の一部を助成することで、保護者の経済的負担の軽減をするとともに、児童及び生徒の保健の向上と健全な育成を図る。</p> <p>『参考』</p> <p>【対象】 市内に住所を有する小学校 1 年生から中学校 3 年生まで。</p> <p>『義務教育就学児医療費利用実績（令和元年度）』</p> <p>【利用件数】 49,143 件</p> <p>【事業費】 34,315,500 円（基金処分額 22,000,000 円）</p>									
補助事業の内容	市内に住所を有する義務教育就学児に対し、医療費の一部を助成する。									
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成 29 年度から令和 8 年度 基金の処分：平成 30 年度から令和 8 年度									
事業費 及び 交付金	基金造成額(A)					基金 処分額 (B)	基金 残 額 (A)-(B)	継続事業に 要した額		
	年度	交付金	市町村 費 等	その 他	運用 益				計	円
	H29	17,895,000	0	0	0	17,895,000	0	17,895,000	0	
	H30	93,761,000	0	0	0	93,761,000	17,895,000	93,761,000	34,411,500	
	R 元	8,965,000	0	0	0	8,965,000	22,000,000	80,726,000	34,315,500	
	R2	23,563,000	0	0	0	23,563,000	29,000,000	75,289,000	29,006,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>令和 2 年度は、39,293 件の利用があった。</p> <p>評価方法は、制度利用者の方に対し、窓口でのアンケートを実施。</p> <p>回答者 35 人のうち、当該制度について 34 人が「よい」（97.1%）、1 人は「よいと思わない」（2.9%）との回答であった。35 人のうち、34 人が「経済的負担の軽減になっている」（97.1%）、1 人が「その他（無料がよい）」（2.8%）との回答であり、子育て世代に対し、有効な制度であり、引き続き継続していく事業と捉えている。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報はむら及び市公式サイトへ掲載</li> <li>・チラシに、当該交付金を活用した制度である旨を記載している。</li> </ul>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無									